現有車両の諸性能

(平成29年4月1日現在)

区分 車名	車種	型式	ポンプ形式	級式	無線局	登録年月日	備考
タンク1	水槽付消防ポンプ 自動車	日野 BDG-GD7JGWA改	日本機械 R-3	A2	有	H23.2.22	緊援隊 水 2,000ℓ(Ⅱ型)
ポンプ2	消防ポンプ自動車	日野 KK-XZU331M	日本機械 R-3	A2	有	H14.1.25	(CD- I 型)
タンク3	水槽付消防ポンプ 自動車	日野 KC-FD1JGBA	日本機械 R-3	A2	有	H9.10.28	水 1,300ℓ(Ⅱ型)
ポンプ4	消防ポンプ自動車	三菱 KC-FE568B 改	モリタ ME-5	A2	有	H10.10.30	(CD- I 型)
タンク5	水槽付消防ポンプ 自動車	日野 KK-FD1JGDA 改	モリタ ME-5	A2	有	H14.12.16	水 1,500&(I -A型)
ポンプ6	消防ポンプ自動車	三菱 KC-FE538B 改	モリタ ME-3A	A2	有	H7.12.6	(CD- I 型)
タンク7	水槽付消防ポンプ 自動車	いすゞ PB-FRS35G3J 改	モリタ ME-5	A2	有	H18.12.13	災害対応型、緊援隊 4WD 水 1,500&(I-A型)
ポンプ8	小型動力ポンプ付 積載車	ダイハツ EBD-S331W	トーハツ VF531	B2	有	H26.12.22	4WD
タンク9	水槽付消防ポンプ 自動車	日野 U-FD3HGAA改	日本機械 R-3	A2	無	H4.2.28	水 2,0004(Ⅱ型)
化学1	化学消防ポンプ 自動車	日野 SDG-GD7JGAA改	モリタ ME-5	A2	有	H28.1.15	水 1,5000 薬液 5000(Ⅱ型)
梯子1	はしご付消防ポンプ 自動車	日野 QDG-PR1APEF			有	H28.10.21	30m 屈折梯子付
救助1	救助工作車	日野 KK-GD1JGDA 改			有	H12.8.18	(Ⅱ型)
救急1	高規格教急自動車	トヨタ CBF-TRH226S			有	H28.3.17	災害対応型 4 WD
救急2	高規格教急自動車	トヨタ CBF-TRH226S			有	H26.12.10	災害対応型 4 WD
救急3	高規格教急自動車	トヨタ CBF-TRH226S			有	H26.1.23	災害対応型、緊援隊 動態情報システム、4WD
救急4	高規格教急自動車	トヨタ CBF-TRH226S			有	H24.9.21	災害対応型 4 WD
救急5	高規格教急自動車	ト크タ CBF-TRH226S			有	H21.12.4	災害対応型 4WD
指令1	指令車	トヨタ GF-ST215G			有	H12.10.13	4WD
指揮1	指揮車	ニッサン GF-PC24			有	H12.2.24	
乗用車	乗用車	トヨタ E-JZS131			無	H7.4.24	
査察車	査察車	マツダ E-GV8W			無	H9.6.30	
事務連絡車	事務連絡車	ニッサン DBA-Y12			無	H27.8.26	
輸送1	人員輸送車	トヨタ SDGーXZB50			有	H25.2.21	乗車定員29人、緊援隊
支援1	支援車	ニッサン DBA-NT31			有	H26.2.24	4WD
搬送1	資機材搬送車	トヨタ KK-XZU362			有	H15.8.29	
調査車	調査車	トヨタ GB-RZH112V			無	H9.6.25	

いろいろな消防ポンプ自動車

水槽付消防ポンプ自動車



2,000 ℓの水を積載し、火災現場に直近して消火活動を行うことができます。

化学消防ポンプ自動車



化学車は、主に油脂火災の消火活動を目的にした消防車で、1,500 ℓの水と500 ℓの泡消火薬剤を積載しています。

はしご付消防ポンプ自動車



はしご車は、主に高所での消防活動を容易にするための車両で、火災時等ビルの高層階に取り残された人の救出や高所からの放水活動等を行います。(30m屈折梯子付き)

高規格救急自動車



この救急車は、患者監視装置、自動体外式除細動器(AED)、自動式心臓マッサージ器をはじめとする高度救急医療資器材を積載しています。

救助工作車



救助工作車は、火災救急等各種の災害現場で救助活動を目的にした消防車で、空気呼吸器やレスキューカッター・照明装置など各種救助資機材を積載しています。

消防車両等の配置状況

(平成29年4月1日)

本部-署所別区分	本 部	本 署	福間分署	赤間出張所	神湊出張所	大島分遣所	合計
消防ポンプ自動車		1	1	1			3
水槽付消防ポンプ自動車		2	1	1	1		5
化学消防ポンプ自動車		1					1
はしご付消防ポンプ自動車		1					1
救 助 工 作 車		1					1
高規格救急自動車		2	1	1	1		5
指 令 車			1				1
指 揮 車		1					1
小型動力ポンプ付積載車						1	1
乗 用 車	1						1
査 察 車	1						1
事 務 連 絡 車	1						1
人 員 輸 送 車	1						1
支 援 車	1						1
資機 材搬 送車	1						1
調査車	1						1
· 함	7	9	4	3	2	1	26

いろいろな救助資機材

空気呼吸器



各種災害現場で、煙、有毒ガス、酸素欠乏環境から消防隊員を保護する「呼吸保護用器具」は、消防活動に欠かすことのできない重要な機材です。

大型油圧式救助器具



大型油圧式救助器具は、油圧ポンプと高圧ホースを用いて、各種アタッチメントに接続することで、持ち上げ、広げ、押さえつけ、引っ張り、締めつけ、切断の操作ができ、交通事故などの人命救助活動に使用されています。

マット型空気ジャッキ



マット型空気ジャッキは、空気ボンベ、圧力調整器、ホース、調整器、バックで構成され、空気圧を利用して重量物の持ち上げ、変形したドアの開放などに使用されます。

酸素溶断器



酸素溶断器は、従来のガス切断器と異なり、アルミニウム、真ちゅう、ステンレスなどの各種金属や、スラブを素早く溶解切断することができる万能型の切断装置です。

救命索発射銃



救命索発射銃は、高所、水面などの孤立した場所へ人命救助用ロープを展張したり、おぼれている人に対して着水後に膨張浮上する救命用浮環を投入するためのもので、救助用ロープを目的の場所に誘導する救命索のついた発射体を発射する特殊な銃です。

熱画像直視装置



熱画像直視装置は、物体表面から自然放射されている赤外線を、画像としてモニター上に表示するもので、暗闇や濃い煙の中にとり残された人を発見したり、火元や残り火を確認するものです。

救助資機材の配置状況

(平成29年4月1日現在)

区分	署所別	本署	福間分署	赤 間 出張所	神奏出張所	大 島 分遣所	合計
一般救助器具	三連はしご	3	1		1		5
一枚权功价共	救命索発射銃	1					1
	可搬ウインチ	2					2
重量物排除用器具	マット型空気ジャッキ	1	1				2
	大型油圧スプレッダー	1	1				2
	エンジンカッター	2	1				3
	酸素溶断機	1					1
切断用器具	チェーンソー	3	1	1	1	1	7
	空気鋸	1	1				2
	大型油圧切断機	1	1				2
	可燃性ガス測定器	2	1	1	1	1	6
検知・測定用器具	有毒ガス測定器	2					2
	放射線測定器	2					2
呼吸保護用器具	空気呼吸器	23	9	8	3	1	44
可吸体设用储具	送排風機	1					1
破壊用器具	削岩機	2					2
検索用器具	熱画像直視装置	1					1
水難救助用器具	潜水用具一式	9					9
小無权助用备具	水中テレビカメラ	1		_			1

消防水利の現況

(平成29年4月1日現在)

		削区分	消火栓	防	火	水	槽	計
市別		\	用入性	小 計	100t以上	60t以上100t未満	40t以上60t未満	
宗	像	市	942	423	28	149	246	1,365
福	津	市	752	243	9	180	54	995
	計		1,694	666	37	329	300	2,360

いろいろな救急資器材

酸素吸入器



低酸素状態の傷病者等に対して酸素を与えることができます。

電動吸引器



傷病者の口腔内または鼻腔内の嘔吐物や血液などを吸引することができます。

気道確保器具



救急救命士が、心肺機能停止状態の傷病者に対して、医師の具体的指示を受けて、使用する気道確保器具で、口から肺までの空気の通り道を確保することができます。

監視モニター(患者監視装置)



傷病者の心電図や心拍数、血圧、血液中の酸素 飽和濃度を測定し、傷病者の状態を継続的に観察 することができます。

脊椎固定具



交通事故などにより、脊椎損傷の可能性がある 傷病者に対して、全身を固定することにより脊椎 の動揺を防ぐことができます。

自動体外式除細動器(AED)



高性能の心電図自動解析装置を内蔵しており、 心臓が停止状態の傷病者に対して、効果的な電気ショックを与えることができます。

救急資器材の配置状況

(平成29年4月1日現在)

署所別 区分	本 署	福間分署	赤間出張所	神湊出張所	슴 計
外 傷 バ ッ グ	2	1	1	1	5
手動式人工呼吸器	4	1	1	1	7
人 工 呼 吸 器	2	1	1	1	5
減圧式固定具	2	1	1	1	5
C P R ボ ー ド	2	1	1	1	5
はさみ(レスキューシーザー)	2	1	1	1	5
喉頭鏡・マギール鉗子	3	1	1	1	6
自動式心肺蘇生器	1	1	1	1	4
頸椎固定具(ファーノケット)	2	1	1	1	5
頸椎固定具(ヘッドイモビライザー)	2	1	1	1	5
異物除去具(スロートイーバッグ)	1	1	1	1	4
電 動 吸 引 器 一 式	2	1	1	1	5
ドアオープナー	2	1	1	1	5
聴 診 器	2	1	1	1	5
ウインドポンチ	2	1	1	1	5
ボルトクリッパー	2	1	1	1	5
患者 監視 装置	2	1	1	1	5
携帯用心電図		1	1	1	3
ショックパンツ	2	1	1	1	5
血圧計(携帯用アネロイド)	2	1	1	1	5
在宅療法資器材標準セット	2	1	1	1	5
レスキューセット	2	1	1	1	5
輸 液 ポ ン プ		1	1	1	3
AED(自動体外式除細動器)	2	1	1	1	5
バックボードー式	2	1	1	1	5
携帯用酸素飽和度測定器	2	1	1	1	5
スクープストレッチャー	2	1	1	1	5
カーディオポンプ	2	1	1	1	5

平成28年中の火災概況

1 出火件数

平成28年中の出火件数は34件であり、前年に比べ13件減少している。

火災種別ごとの件数をみると、建物火災が22件と最も多く、出火件数の64.7%を占め、その他の火災8件(23.5%)、車両火災3件(8.9%)、船舶火災1件(2.9%)の順となっている。これらの出火件数を前年と比べると、建物火災と船舶火災がそれぞれ変わらず、車両火災が5件、その他の火災が6件減少し、林野火災は2件から0件になっている。

2 火災の損害・死傷者の状況

平成28年中の建物焼損棟数は29棟で、前年に比べ4棟増加している。焼損床面積については、935平方メートルで、前年に比べ58平方メートル減少している。また、焼損表面積は155平方メートルで、前年に比べ103平方メートル増加している。

平成28年中の火災による損害額は、53,272千円で、前年に比べ64,829千円減少している。 平成28年中の火災による死傷者数は、死者については1人で、前年に比べ3人減少し、負傷者については5人で、前年と比べ1人減少している。

3 出火原因

平成28年中の出火件数34件のうち、出火原因については、たばこが最も多く5件 (14.7%)、次いで電灯・電話等の配線4件 (11.8%)、たき火、放火の疑い、その他が3件 (8.8%) であり、上位を占めている。

たばこが原因による火災は前年と比べて2件増加し、電灯・電話等の配線が4件増加している。昨年の原因別出火件数に入っていたこんろは3件減少し、たき火は1件減少している。

4 住宅用火災警報器

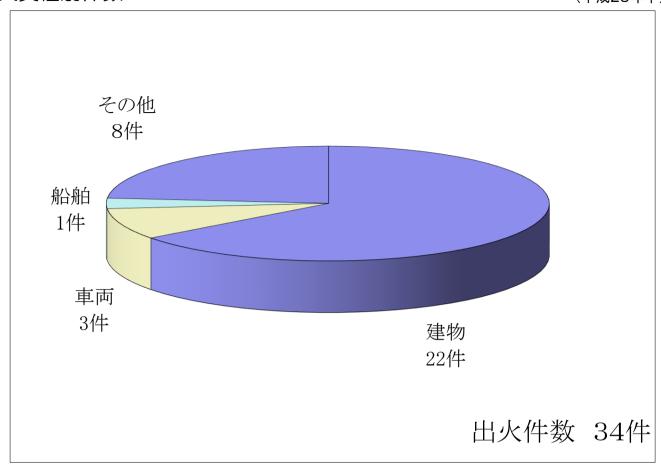
平成18年6月に新築住宅、平成21年6月から既存住宅にも住宅用火災警報器の設置が義務付けられ、宗像地区での設置率は73.1%(平成28年5月現在)となっている。

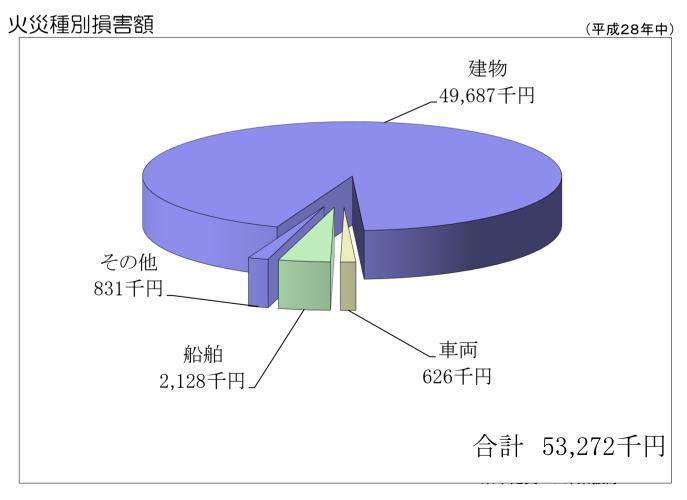
平成23年から平成28年までの住宅用火災警報器の奏功事例は15件あり、一定の効果をあげており、設置から10年以上経過している場合は電池の交換を推奨し、日常の点検のしかたについても広報を行なっている。

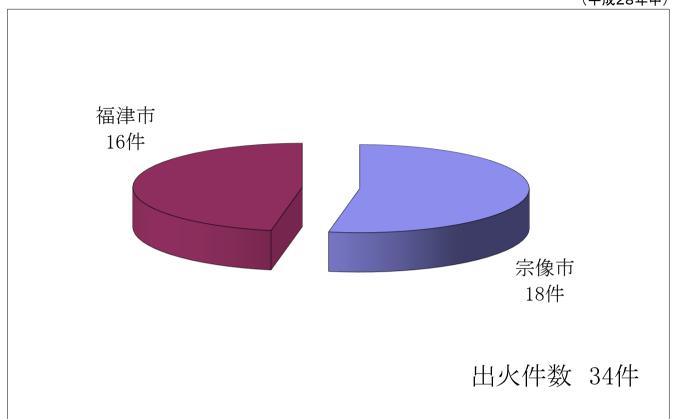
				(過去2年間)
区 分		平 成 2 8 年	平成27年	対 前 年 比
出火件数	件	34	47	Δ 13
建物火災	件	22	22	
林野火災	件		2	Δ2
車両火災	件	3	8	Δ 5
船舶火災	件	1	1	
航空機火災	件			
その他の火災	件	8	14	Δ 6
焼 損 棟 数	棟	29	25	4
全焼	棟	5	5	
半焼	棟	4	2	2
部 分 焼	棟	8	4	4
ぼや	棟	12	14	Δ2
焼損床面積(建物)	m ^³	935	993	Δ 58
焼 損 表 面 積(建 物)	m [*]	155	52	103
焼 損 面 積 (林 野)	а		1	Δ1
死 者 数	人	1	4	Δ3
負 傷 者 数	人	5	6	Δ1
り 災 世 帯 数	世帯	13	16	Δ3
全損	世帯	3	4	Δ1
半 損	世帯	1		1
小損	世帯	9	12	Δ3
り 災 人 員 数	人	26	33	Δ7
損 害 額	千円	53,272	118,101	Δ 64,829
建物火災	千円	49,687	111,656	Δ 61,969
林野火災	千円			
車両火災	千円	626	3,045	Δ 2,419
船舶火災	千円	2,128	12	2,116
航空機火災	千円			
その他の火災	千円	831	3,388	Δ 2,557
全 火 災 1 件 当 り 損 害 額	千円	1,567	2,513	Δ 946
損害額	千円	2,259	5,075	Δ 2,816
建物火災 建物烷損面積	m	42.5	45.1	Δ 2.6
焼 損 棟 数	棟	1.3	1.1	0.2
1件当り り 災 世 帯	世帯	0.6	0.7	Δ 0.1
り災人員	人	1.2	1.5	Δ 0.3
出 火 率	件	2.14	3.00	Δ 0.86
人	人	158,559	156,925	1,634

(注) 出火率は、人口1万人当りの出火件数(人口は平成28年12月31日現在の住民基本台帳による)

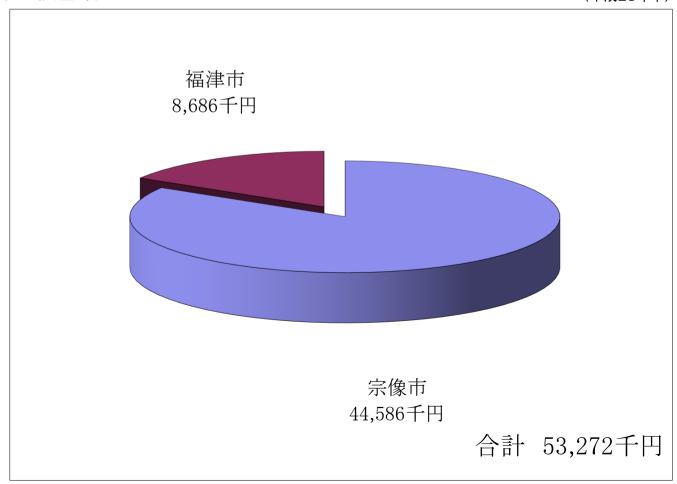
火災種別件数 (平成28年中)







市別損害額 (平成28年中)

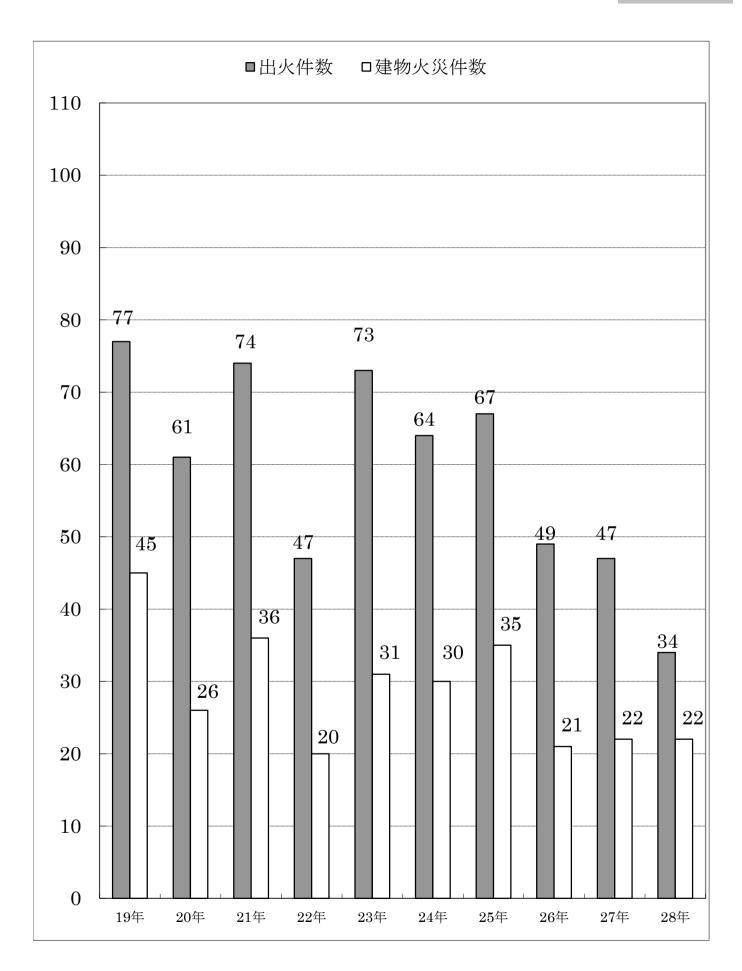


宗像市内の火災状況

(平成28年中) 月別 1月 4月 5月 7月 9月 10月 11月 12月 合計 2月 3月 6月 8月 区分 出火件数 件 4 2 2 3 18 建物火災 3 件 12 林野火災 件 車両火災 件 船舶火災 件 航空機火災 件 その他の火災 件 3 焼損棟数 6 3 棟 17 全 焼 棟 2 半焼 1 棟 部分焼 棟 2 6 ぼや 棟 焼損床面積(建物) m 113 1 107 276 506 130 5 9 焼損表面積(建物) m² 144 焼損面積(林野) а 死 者 数 人 建物火災 人 建物火災以外 人 負傷者数 1 人 建物火災 人 3 建物火災以外 人 14,000 44,586 損害額 千円 14,489 181 2,916 12,929 64 13,574 41,144 建物火災 千円 13,794 168 64 609 12,928 林野火災 千円 車両火災 千円 280 346 626 船舶火災 千円 2,128 2,128 航空機火災千円 その他の火災 千円 415 13 179 80 688 り災世帯数 世帯 3 11 4 世帯 1 3 1 半 損 世帯 小 損 世帯 2 7 り災人員 人 9 22

														(平成2	8年中)
区分	月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出	少件数	件	2		2	1	2	1	2	2	2	1	1		16
	建物火災	件	1		2	1	1	1	1	1	1		1		10
	林野火災	件													
	車両火災	件							1						1
	船舶火災	件													
	航空機火災	件													
	その他の火災	件	1				1			1	1	1			5
烰	括損 棟 数	棟	1		2	2	1	1	2	1	1		1		12
	全 焼	棟				2			1						3
	半 焼	棟			1										1
	部分焼	棟							1	1					2
	ぼや	棟	1		1		1	1			1		1		6
焼	員床面積(建物)	m [°]			74	197			158						429
焼扌	員表面積(建物)	m [*]							10	1					11
焼	損面積(林野)	а													
歹	ž 者 数	人													
	建物火災	人													
	建物火災以外	人													
負	傷 者 数	人										1			1
	建物火災	人													
	建物火災以外	人										1			1
担	害額	千円	150		8,489		9			38					8,686
	建物火災	千円	23		8,489		9			22					8,543
	林野火災	千円													
	車両火災	千円													
	船舶火災	千円													
	航空機火災	千円													
	その他の火災	千円	127							16					143
	り災世帯数	世帯							1		1				2
	全 損	世帯													
	半 損	世帯													
	小 損	世帯							1		1				2
Ŋ	災人員	人							2		2				4

														(平成2	8年中)
区分	月5		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
ㅂ	出火件数	件	6		2	5	3	3	2	2	4	4	1	2	34
	建物火災	件	3		2	3	2	3	1	1	2	3	1	1	22
	林野火災	件													
	車両火災	件	1						1					1	3
	船舶火災	件									1				1
	航空機火災	件													
	その他の火災	件	2			2	1			1	1	1			8
熄	竞損 棟数	棟	7		2	5	2	3	2	1	2	3	1	1	29
	全 焼	棟	1			2			1					1	5
	半 焼	棟	1		1		1					1			4
	部分焼	棟	2			2			1	1	1	1			8
	ぼや	棟	3		1	1	1	3			1	1	1		12
焼抽	員床面積(建物)	m³	113		74	198	2		158		7	107		276	935
焼抽	員表面積(建物)	m³	130			5			10	1		9			155
焼	損面積(林野)	а													
歹	E 者 数	人	1												1
	建物火災	人	1												1
	建物火災以外	人													
負	自傷者数	人	1								1	2		1	5
	建物火災	人	1									1		1	3
	建物火災以外	人									1	1			2
担	書額	千円	14,639		8,489	181	73	7		38	2,916	12,929		14,000	53,272
	建物火災	千円	13,817		8,489	168	73	7		22	609	12,928		13,574	49,687
	林野火災	千円													
	車両火災	千円	280											346	626
	船舶火災	千円									2,128				2,128
	航空機火災	千円													
	その他の火災	千円	542			13				16	179	1		80	831
	り災世帯数	世帯	4			1		1	1		2	3		1	13
	全 損	世帯	1									1		1	3
	半損	世帯	1												1
	小 損	世帯	2			1		1	1		2	2			9
l ₂	リ災 人 員	人	6			1		1	2		4	9		3	26



												十八八乙	0 + + /
月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
原因別 \													
たばこ			1			1		1	1			1	5
こんろ									1	1			2
かまど													
風呂かまど													
炉													
焼 却 炉													
ストーブ													
こたっ													
ボイラー													
煙 突・煙 道				1									1
排気管	1						1						2
電気機器	1												1
電気装置													
電灯・電話等の配線				2		2							4
内 燃 機 関													
配線器具	1												1
火遊び													
マッチ・ライター													
たき火					2				1				3
溶接機•切断機													
灯 火										1			1
衝突の火花	1												1
取 灰													
火入れ													
放火	1												1
放火の疑い					1			1			1		3
その他			1	1						1			3
不明‧調査中	1			1			1		1	1		1	6
合 計			2	5	3	3	2	2		4	1		34
P1	J		_	,)	9		_		_	_	_	<u> </u>

過去10年間の主な出火原因の推移

	1 位	たき火 20件	たき火 15件	たき火 18件	たき火 11件	たき火 11件	たき火 16件	たき火 12件	たき火 13件	その他 12件	たばこ 5件
出 火 原 因	2 位	たばこ	放火 8件	こんろ 8件	たばここんろ	こんろ 10件	こんろ 9件	その他 9件	その他 7件	こんろ 5件	電灯・ 電話等 の配線 4件
	3 位	こんろ 7件	こんろ その他 6件	その他 7件	その他 6件	放火 7件	その他 7件	こんろ 8件	こんろ 火入れ 放火の疑い 3件	たき火 4件	たき火 放火の疑い その他 3件
出。	火 件 数	77件	61件	74件	47件	73件	64件	67件	49件	47件	34件
新	計 年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年

警防•救急

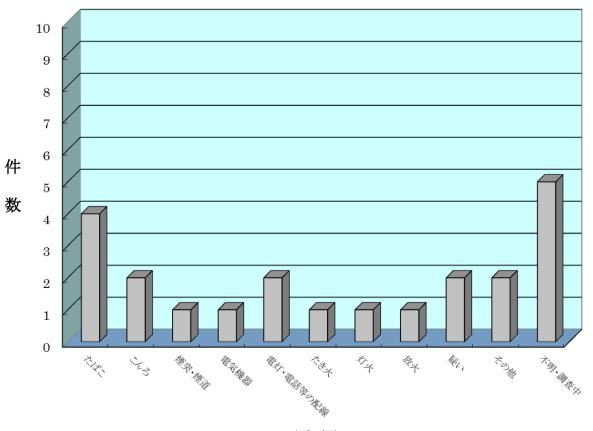
建物用途別出火件数

(平成28年中)

														(十成乙	0 T T /
/ 用i	金別	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
住		宅	2			2					2	3		1	10
共	同(主 宅						1							1
寄	宿	舎													
事	務	所													
店		舗			1		1	1		1					4
工		場													
作	業	場				1									1
倉		庫					1		1						2
納		屋													
物		置													
置		場						1							1
車		庫													
養	畜	舎													
そ	Ø	他	1		1								1		3
	計		3		2	3	2	3	1	1	2	3	1	1	22

建物火災の出火原因

(平成28年中)



原 因

覚知別出火件数

(平成28年中)

												(1 /20	20+ +/
月別 覚知別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
火災報知専用電話 (NTT以外の固定電話)				1						1			2
火災報知専用電話 (NTT加入の固定電話)			1	2		1							4
火災報知専用電話 (携帯電話)	3		1	2	2	1	1	1	1	1		2	15
加入電話(固定電話)									1				1
加 入 電 話 (携 帯 電 話)													
警察電話													
駆け付け通報													
事後聞知	3				1	1	1	1	2	2	1		12
その他													_
合 計	6		2	5	3	3	2	2	4	4	1	2	34

曜日別火災概況

														(十八	28年甲/
		内訳	出火件数(件)								死傷者(人)		焼 損 面		損害額
曜日	別		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	死者	傷者	建 物 (m²)	表面積 (㎡)	林 野 (a)	(千円)
日	曜	日	6	3		1			2			197			432
月	曜	日	2	2											30
火	曜	日	5	2		1			2				1		149
水	曜	日	6	5					1			160	10		82
木	曜	田	5	2			1		2		3	276			15,997
金	曜	日	6	5		1				1	2	301	135		36,484
土	曜	田	4	3					1			1	9		98
不		明									_				
合		計	34	22		3	1	_	8	1	5	935	155		53,272

時間別出火概況 警防・救急

												(平成28年中)
区分		出	火	件	数((件)		死傷	者(人)	焼	損 面	積	損害額(千円)
時間別	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	死者	負傷者	建物(㎡)	表面積(m²)	林野(a)	損害領(丁円 <i>)</i>
0~1	1	1									9		69
1~2	3	3							2	383			26,549
2~3	1				1				1				2,307
3~4													
4~5	1						1						127
5~6	1	1								1			13
6~7	1	1											
7~8													
8~9													
9~10	4	4								271			8,495
10~11	1			1									423
11~12	5	1		1			3		1				17
12~13													
13~14	1	1											9
14~15	1	1								2			64
15~16	1			1									311
16~17	1						1						
17~18	1	1									1		22
18~19													
19~20	3	2					1				5		168
20~21	2	2											4
21~22													
22~23	3	1					2			7			610
23~24	1	1						1	1	113	130		14,061
不明	2	2								158	10		23
合計	34	22		3	1		8	1	5	935	155	_	53,272

													(十八	28年中)
	_ 月別		- 1			_ 🗕		_ 🛏	- H			🛏		A - 1
	, \	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
区分														
	晴	1			3	2	1	2	2	4			1	16
天	曇	2		1		1	1				3	1	1	10
	雨	1		1	2		1				1			6
	雪	1												1
候	 不 明	1												1
	計	6		2	~	3	3	2	2	4	4	1	0	
					5	3		Z	Z	4	4	1	2	34
	無風状態	2			2		2						1	7
	北			1	1			1	1	2				6
	北北東								1					1
	北東					1					1			2
	東北東										1			1
	東					1								1
風	東南東			1			1			1				3
	南東										2			2
	南南東													
	南南					1		1						2
						1		1						
	南南西													_
	南西									1		1		2
向	西南西	1												1
	西	1			1								1	3
	西北西	1												1
	北 西													
	北北西				1									1
	不明	1												1
	計	6		2	5	3	3	2	2	4	4	1	2	34
	1 未 満	2		_	2		2	_	_	1	1	1	1	10
風	$1 \sim 2$	2			3	1				1	1		1	-
速	$\frac{1}{2} \sim 3$			1	J	1	1			1	2			5
		1		1		1	1			1				2
		1				1		_	0					
	4 ~ 5					1		1	2	1				5
m	5 ~ 6			1				1						2
/	$6 \sim 7$													
	$7 \sim 8$													
S	8以上													
<u> </u>	不明	1												1
	計	6		2	5	3	3	2	2	4	4	1	2	34
	40未満													
湿	40~50													
	50~60	1				1							1	3
度	$60 \sim 70$	1				1		1					1	
	70~80	1			1	1		1	1	1				2 5
	80~90			1	1		1	T			1	1		8
%		2		1	,	-	1		1	1	1	1	4	
	90~100	1		1	4	1	2			2	3		1	15
$\overline{}$	不明	1		<u> </u>										1
	計	6		2	5	3	3	2	2	4	4	1	2	34

月別•市別出動車両•出動人員

(平成28年中)

分類	出火	出動	事後調	出	動車両(台)	出	動人員(人)
月別 市別	件 数	件数	調 查 件 数	計	消防署	消防団	計	消防署	消防団
1 月	6	3	3	38	23	15	185	70	115
2 月									
3 月	2	2		47	16	31	197	49	148
4 月	5	25		65	28	37	333	94	239
5 月	3	2	1	8	5	3	25	14	11
6 月	3	2	1	7	7		21	21	
7 月	2	1	1	19	10	9	115	30	85
8 月	2	1	1	19	9	10	77	25	52
9 月	4	2	2	5	4	1	19	12	7
10 月	4	2	2	60	24	36	366	93	273
11 月	1		1	1	1		3	3	
12 月	2	2		18	10	8	77	34	43
合 計	34	22	12	287	137	150	1,418	445	973
宗像市	18	13	5	113	64	49	510	200	310
福津市	16	9	7	174	73	101	908	245	663

(注)出動件数とは、出動指令により火災出動した件数で一連の火災調査も含む。 事後調査件数とは、事後通報により火災調査のみに出向した件数である。